

北海道支部が幹事支部として札幌で開催します！ 「第 41 回日本合板商業組合 通常総会」ご案内

日本合板商業組合通常総会は、全国の会員が一堂に会する、唯一かつ年に一度の貴重な機会です。「協調と連帯」の基本理念のもと、合板建材流通業の発展と会員の活性化を図るために欠くことのできない情報交換の場として、組合員各位に大きく寄与することと存じます。

第 41 回日本合板商業組合通常総会は、北海道支部が幹事支部として開催準備を進めています。

本年は、明治 2 (1869) 年 8 月 15 日に蝦夷地が北海道と命名されてからちょうど 150 年目という大きな歴史の節目を迎えます。同地において、日合商の先人たちに想いを寄せ、本組合の原点に立ち戻り、今後の活動について語り合えることは非常に意義深いことだと思います。

全国各支部の皆様お誘い合わせのうえ是非ご出席くださいますようお願い申し上げます。

平成 30 年 5 月 17 日 (木)

- ◇会場：京王プラザホテル札幌
〒060-0005 札幌市中央区北 5 条西 7 丁目 2-1
TEL 011-271-0111
- ◇アクセス：JR 札幌駅より徒歩約 5 分
新千歳空港駅より快速エアポート利用、札幌駅下車
新千歳空港より連絡バス利用
- ◇スケジュール：総代会受付 13:00 ~
総代会 14:00 ~ 15:30
講演会 15:45 ~ 17:15
講師 (株)ニトリホールディングス
代表取締役会長兼 CEO 似鳥 昭雄 氏
懇親会 17:30 ~ 19:10
アトラクション：ジュニアジャズ
よさこいソーラン
二次会 19:10 ~
アトラクション：北海道和太鼓

平成 30 年 5 月 18 日 (金)

- ◇エクスカーション：ゴルフまたは観光
- 〈ゴルフ〉小樽カントリー倶楽部 新コース ※スループレー
20 組 80 名 (先着順)
- 〈観光〉余市ニッカウキスキー
小樽芸術村 (似鳥美術館・ステンドグラス美術館)
小樽運河周辺散策
定員 40 名 (先着順)



費用

■日本合板商業組合第 41 回通常総代会 登録料

- ・組合員お一人様 (懇親会・二次会を含む) 20,000 円 (税込)
- ・ご同伴者お一人様 (令夫人様またはご子弟) 10,000 円 (税込)

■エクスカーション 登録料

- ・ゴルフ参加費 お一人様 10,000 円 (税込)
※プレー代、その他私物は各自で精算願います。
- ・観光参加費 (食事・バス代含む) お一人様 10,000 円 (税込)



PSH-100 (ウォールナット) PSH-200 (オーク) PSH-300 (チーク) PSH-400 (ハードメープル) PSH-500 (アメリカンチェリー)

床暖房対応住宅用木質床材

プレミアムヘリンボーン

2mm 厚スライス厚単板を贅沢に使った高級感あふれるインテリアを創造します。

●樹種：ウォールナット・オーク・チーク・ハードメープル・アメリカンチェリー ●サイズ：12×75×450mm

ボード株式会社
<http://www.board.co.jp>

本社 〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-5-3
TEL. 03-3352-7155 FAX. 03-3352-6714
仙台営業所 〒981-3602 宮城県黒川郡大衡村大衡字座府 75-14
TEL. 022-345-5955 FAX. 022-345-0065

合板需給検討委員会による

合板需給見通し

合板需給検討委員会による「合板需給見通し」を林野庁主催「平成 29 年度第 4 回木材需給会議」に向け提出

合板 短期需給見通し

(Unit : 1,000㎡)

		供給			需 要 (出荷)			期末在庫		
		計	国内製造	輸入合板	計	国内製造	輸入合板	合計	国内製造	輸入合板
2017(H29) 10 -12	前回予測	(1,509)	(800)	(709)	(1,530)	(820)	(710)	(1,059.835)	(138.140)	(921.695)
	実績	1,577.340	834.392	742.948	1,581.441	838.441	743.000	1,076.734	154.091	922.643
2017(H29) 計		6,114.640	3,210.521	2,904.119	6,119.430	3,209.430	2,910.000			
2018(H30) 1-3	前回予測	(1,466)	(780)	(686)	(1,465)	(770)	(695)	(1,060.835)	(148.140)	(912.695)
	見込み	1,522.000	790.000	732.000	1,480.000	770.000	710.000	1,118.734	174.091	944.643
4-6	前回予測	(1,523)	(810)	(713)	(1,500)	(800)	(700)	(1,083.835)	(158.140)	(925.695)
	見通し	1,501.000	810.000	691.000	1,500.000	800.000	700.000	1,119.734	184.091	935.643
7-9	見通し	1,521.000	810.000	711.000	1,540.000	830.000	710.000	1,100.734	164.091	936.643

国産合板の需要

1. 平成 29 年第 4 四半期の実績について 今回 (838 千㎡)
(実績数量の背景、前年同期との比較等)
住宅着工数は第 3 四半期 7 月より連続で前年比減の推移だが、九州等で在来工法の面材体力壁用途の構造用合板が増加の傾向。また、フローリング用針葉樹台板等の非構造用途の需要も堅調に増加で推移して来た。
出荷量は前年同期の+ 5.4%で 838 千㎡となり、前四半期の 818 千㎡より大きく増加、ピークを更新することとなった。
2. 平成 30 年第 1 四半期の見込みについて 今回 (770 千㎡)
(見込み作成の根拠、前年同期との比較等)
住宅着工数は第 1 四半期も前年比減の傾向が予想され需要減少要因だが、針葉樹構造用合板の面材耐力壁や非住宅用途、非構造用ではフロー台板、型枠合板の用途向け拡大が一層進む見込み。東日本では東北・北海道など降雪の影響は大きく中小工務店の引き合いは落ち着いている。一方、西日本の九州地区では構造用合板の引き合いは相変わらず強い状態が続いている。出荷量は、前年を+ 1.1%上回る 770 千㎡と見込まれる。
3. 平成 30 年第 2 四半期の見通しについて 今回 (800 千㎡)
(見通し作成の根拠)
住宅着工数は賃貸の減少傾向など影響を受けると思われるが、大手プレカット工場などは 4 月からの平常の加工を計画している。また、4 月から予定される新規生産拠点の稼働により、フロー台板などの非構造用の広がる用途の需要を支える見通し。
(前年同期との差異について)
出荷量は 5 月連休の影響は受けるものの、前年を+ 1.1%上回る 800 千㎡となる見通し。
4. 平成 30 年第 3 四半期の見通しについて 今回 (830 千㎡)
(見通し作成の根拠)
住宅着工数は前年比水準に回復するとみられる、また建築基準法の一部改訂により非住宅分野での建築物の木造化も追い風となり、用途の拡大が一層期待される。また、オリンピック需要についても遅れている合板型枠などの使用は、第 2－3 四半期に顕在化してくる見通しとなっている。
(前年同期との差異について)
出荷量は 8 月盆休みの影響は受けるが、前年を+ 1.4%上回る 830 千㎡となる見通し。
5. その他注目点等
建築基準法の一部改訂(耐火構造の要件見直し)は、建築物の木造化を一層推進するものとなり、針葉樹構造用合板の拡大につながってゆくことが期待される。

輸入合板の需要

1. 平成 29 年第 4 四半期の実績について 今回 (743 千㎡)
(実績数量の背景、前年同期との比較等)
サラワクの税率引上げ、丸太出材不足のなか駆け込み発注分の集中入荷となり、これに応じて待ち望んだ需要家への出荷となった。結果、入荷が遅れていた前年同期の入荷・出荷量を大きく上回ることとなった。出荷量は、前年+ 6.0%の 743 千㎡と大きく上回った。
2. 平成 30 年第 1 四半期の見込みについて 今回 (710 千㎡)
(見込み作成の根拠、前年同期との比較等)
当初、前四半期の集中入荷の反動が今四半期現れるとみていたが、フロー台板であるファルカタ合板のコンテナでの入荷が多く見られ、前四半期に近い入荷量の水準となる見込み。塗装型枠合板や薄物・中厚合板などの品薄感の強いものは、出荷が入荷水準に対応する見込み。一方、品薄感の弱い生型枠合板等は、一部在庫となる見込み。前年は前々年末の年越しの集中通関で大幅の入荷増であったため、今年はその反動となる見込み。出荷量は前年－ 9.4%と大きく下回り、710 千㎡となる見込み。
3. 平成 30 年第 2 四半期の見通しについて 今回 (700 千㎡)
(見通し作成の根拠)
丸太の出材不足に加え、期間中ラマダン(断食月)など生産が落ちる要素により、供給(入荷)は減少する見込み。併せて出荷も若干減少するが、不足感のあるアイテムは変わらず強い引き合いが続く見通し。
(前年同期との差異について)
出荷量は前年－ 0.3%とわずかに下回るが、量的な水準は前四半期と大きな変化はなく 700 千㎡となる見通し。
4. 平成 30 年第 3 四半期の見通しについて 今回 (710 千㎡)
(見通し作成の根拠)
丸太不足のなかでの生産に加え、日本以外の他地域への供給の価格メリットのため、日本向け供給(入荷)の増加には厳しい環境が続くものと思われる。一方、輸入合板の需要は品薄アイテムを中心に衰えは見られず、入荷量の水準は出荷されてゆく見通し。
(前年同期との差異について)
出荷量は前年+ 4.3%と上回り、710 千㎡となる見通し。
5. その他注目点等
マレーシア、インドネシアシッパーの企業グループにおいては、オイルパーム・プランテーションからの利益の比率が高くなり、木材産業からの利益の比率は低くなる傾向がでている。



チヨダウーテ

www.chiyoda-ute.co.jp

70TH ANNIVERSARY

おかげさまで、チヨダウーテは創業70周年をむかえました。



暮らしをまもる 住まいを魅せる

汚れても、雨水が洗い流す。
残った汚れも、光触媒パワーが分解する。



排気ガスなどによる
外壁の汚れ

超親水性で
雨水が汚れを洗い流す

残った汚れも
分解する

光触媒の壁

光セウ

ケイミュー株式会社

ケイミューは「パナソニック」と「クボタ」が出資している両社のグループ会社です。

【本社】〒540-6013 大阪府大阪市中央区城見 1-2-27 クリスタルタワー 13F

www.kmew.co.jp/

お客様相談窓口

0570-005-611

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます(PHSのご利用は☎0743-56-2152)
受付時間・月～金 9:00～17:00(土・日・祝日・GW・お盆・年末年始は受付していません)

住団連「経営者の住宅景況感調査（1月度）報告」より

平成 30 年 1 月度経営者の住宅景況感調査集計結果

○印の数字は最も回答が多い

		10 ～ 12 月（対前年同期比） 実 績					1 ～ 3 月（対前年同期比） 見 通 し				
		△10% 程度・以上 悪い	△5% 程度 悪い	± 0% かわらず	+ 5% 程度 良い	+ 10% 程度・以上 良い	△10% 程度・以上 悪くなりそう	△5% 程度 悪くなりそう	± 0% かわらず	+ 5% 程度 良くなりそう	+ 10% 程度・以上 良くなりそう
戸建注文住宅	受注戸数	2	3	⑦	1	3	0	1	⑧	5	2
	受注金額	0	3	⑦	1	3	0	0	⑦	5	2
戸建分譲住宅	受注戸数	④	0	④	0	1	0	2	⑤	1	1
	受注金額	④	0	2	0	2	0	2	④	1	1
賃貸住宅	受注戸数	④	3	3	1	1	1	2	⑥	3	0
	受注金額	④	1	3	1	2	1	2	④	④	0
リフォーム	受注金額	1	2	⑥	2	4	1	1	4	⑦	2
上記全体	受注戸数	2	2	⑤	1	3	0	1	⑦	4	1
	受注金額	1	3	④	3	2	0	0	⑧	4	1

－調査時期－

平成 29 年 12 月上旬

－調査対象－

住団連理事・監事等、18 社の住宅の受注動向を把握されている経営者

－回答数－

17 社

－回答者－

旭化成ホームズ、一条工務店、サンヨーホームズ、スウェーデンハウス、住友林業、積水化学工業、積水ハウス、大東建託、大和ハウス工業、寺井工務店、東急ホームズ、トヨタホーム、日本ハウスホールディングス、パナホーム、ミサワホーム、三井ホーム、ヤマダ・エスバイエルホーム
(社名：アイウエオ順)

(注)

1. 戸建注文住宅とは、エンドユーザーからの請負戸建住宅を意味します。
2. 戸建分譲住宅には、ディベロッパーから分譲住宅用として請負った戸建住宅を含みます。
3. 低層賃貸住宅はアパートを意味します。

新設住宅着工戸数の予測

回答数－15 社【単位：万戸】

	総戸数	持 家	分譲住宅	賃貸住宅
平成 28 年度 実績	97.4	29.2	24.9	42.7
平成 29 年度 予測	-	-	-	-
平成 30 年度 予測				
A 社	92	28	25	38
B 社	96	31	25	39.5
C 社	94	29.5	25.5	38.5
D 社	95.1	28.5	24	42
E 社	96.9	28.6	24.8	43
F 社	96.5	30	25.5	40.5
G 社	94	28.5	25.5	39.5
H 社	94	28	27	38.5
I 社	93.5	28	26	39
J 社	91	26	24.8	39
K 社	94	27.5	22.5	43.5
L 社	101	30	25	45
M 社	96.4	29.7	25.5	40.7
N 社	94	28.7	24.2	40.5
O 社	記載なし	記載なし	記載なし	記載なし
P 社	-	-	-	-
Q 社	記載なし	記載なし	39	記載なし
R 社	記載なし	記載なし	記載なし	記載なし
平 均	94.7	28.8	25.1	40.2

平成 30 年 2 月 25 日現在

【グリーン購入法】に基づき事業者新認定・期限更新した6 社

東北

東北 - ③ -0029 (株)下久保建材店 代表取締役 下久保 和成

東関東

東関東 - ③ -0017 (株)本田 代表取締役 堀米 孝造

東京

東京 - ③ -0120 (株)秋山商店 代表取締役 秋山 悟

東京・静岡 -0236 (株)シズケン 代表取締役 杉山 和也

関西

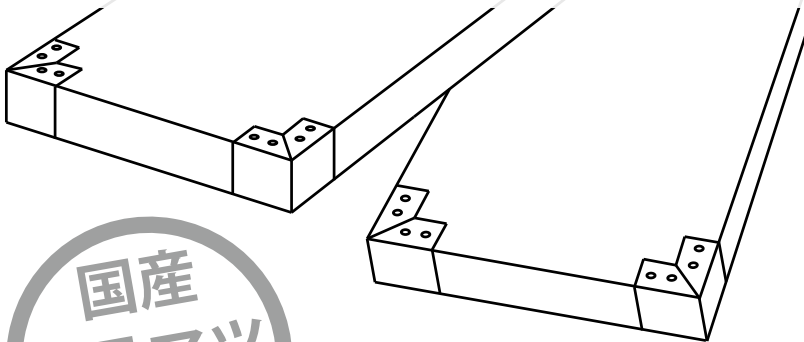
関西 - ② -0071 島田(株) 代表取締役 島田 博史

中国

中国 -0099 (株)倉敷山商 代表取締役 濱本 陽次

国産材合板足場板

(一社) 合板仮設材安全協会認定品



国産
カラマツ
100%

○釘打ち・加工が可能

○幅広い使用用途

KEY⇨TEC
株式会社 キーテック

〒136-0082 東京都江東区新木場 1-7-22
新木場タワー 8 階
TEL：03-5534-3741 FAX：03-5534-3750
http://www.key-tec.co.jp

キノウを超える、ミライへ。
DAIKEN

美を極めた床

細部までゆき届いたこだわり、幅広いデザインと美しい木目の装い。
そして美を保つ機能性が、三位一体となり美しい空間を作り出します。

美は細部に宿る

時を経ても美しく
美しさ広がる

Trinity
トリニティ

美は細部に宿る

エッジにまで行き届いた
美しさへのこだわり。

美しさ広がる

空間の美しさを広げる
ワイドサイズ& 9 カラー。

178mm

時を経ても美しく

いつでも、いつまでもキレイ。
美しさを守るための強さをまとう。

日焼け

キズ

汚れ

四周木口面へ化粧を施す
革新的な技術(特許取得済)により、
目地という細部まで美しく。

大建工業株式会社 本社 / 大阪府大阪市北区中之島 3 丁目 2 番 4 号（中之島フィナンシャルタワー14F） https://www.daiken.jp/

2018.2.05

関西支部 研修会 「平成 30 年度 国の住宅政策について」

参加 300 名

国土交通省 住宅局 住宅生産課 課長 長谷川貴彦氏を講師に迎え、大阪市中央区のヒューリック心斎橋ビルで開催されました。



講師は国土交通省住宅局 住宅生産課 課長 長谷川貴彦氏 30 分間の質疑応答も活発に行なわれた



開会の挨拶に立つ石本勝範支部長

2018.2.27

中部日本支部 冬の研修会「国際環境雑感」

参加 97 名

元中部航空方面隊 幕僚長 石井祐司 氏を講師に迎え、名古屋国際会議場で開催されました。



開会の挨拶に立つ小田敏光副支部長



概要

2018 年 1 月の新設住宅着工戸数は 66,358 戸（前年同月比 13.2%減）で 7 カ月連続の減少となった。その内、木造住宅は 38,962 戸（同比 0.3%減）で 7 カ月連続減少となった。季節調整済年率換算値は 85.6 万戸で前月比 8.6%減、2 カ月連続の減少となる。

利用関係別では持家が 20,257 戸（前年同月比 0.1%増）で 8 カ月ぶりの増加、貸家は 28,251 戸（同比 10.8%減）で 8 カ月連続の減少、分譲は 17,448 戸（同比 27.5%減）で 2 カ月連続の減少となった。分譲の内訳はマンションが 6,525 戸（同比 50.2%減）で 2 カ月連続の減少、戸建ては 10,743 戸（同比 1.1%減）と 4 カ月ぶりの減少となった。持家は増加したが、貸家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比 13.2%と大きく減少となった。前年同月比は東京オリンピック関連の着工が増加した為、その反動もある。

建築工法別ではプレハブが 10,600 戸（同比 7.0%減）で 8 カ月連続の減少、2×4 は 8,593 戸（同比 3.4%増）で 7 カ月ぶりの増加となった。

国内・外合板の供給量

1 月の国内合板生産量は 25.7 万㎡（前月比 94.6%、前年同月比 106.6%）と発表された。その内、針葉樹合板の生産量は 24.5 万㎡（同比 94.7%、107.8%）となり、出荷量は 25.2 万㎡（同比 98.0%、107.3%）

となった。出荷量は 5 カ月連続 25 万㎡以上と高水準を維持されており、各社増産体制は継続している。

輸入合板の 1 月度入荷量は 27.4 万㎡（前月比 117.9%、前年同月比 88.8%）となった。国別入荷量はマレーシアが 10.4 万㎡、インドネシアが 8.8 万㎡、中国が 6.4 万㎡となっている。

今後の見通し

国内針葉樹合板は高水準の出荷が続いている。2 月以降は直需系の引き合いが多少落ち着いたこともあって木建ルートに商品がまわり始めたが、アイテムによっては未だ納期がつかないものもある。現状のメーカー在庫量の少なさを考慮すると、4 月も同様の状況が続くと思われる。受注残の出荷完了には時間が掛るようである。今後は少し落ち着いた動きになると思われるが、国内メーカーは GW 以後の需要に備える為、最低水準の在庫を適正水準まで持ち上げる必要があり、相場は維持されと思われる。

輸入合板は現地マレーシア、インドネシア共に原木事情は多少改善傾向には有るが、丸太出材量が例年に比べると少ない状況である。現地の通貨高もあり、まだ現地価格は変わらず強気を続けている。現在の国内市況は一服感があるものの今後の入港量を考慮すると、需要で荷動きが出てくると状況は更に変化すると思われるので状況を常に把握することが必要と考える。

合板市況と今後の見通し

日本合板商業組合東京支部
東京都ベニヤ板問屋協同組合
新風会 猪爪 清和

日合商本部事務局よりお知らせ

『クリーンウッド法』についての研修会』開催について

『クリーンウッド法』（合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律）に適切に対応するための研修会を、日合商本部事務局が日合商各支部の要請・ご要望に応じて実施してまいります。支部単位での要請・ご要望を本部事務局へお寄せください。



80

住環境と共に進化する。

th anniv.

おかげさまで、創業 80 周年を迎えました。

JKホールディングス株式会社



PHOTO: 本社ビル 新木場タワー